



学年団だより

香川県立高松北中学校 2 年 団

2026. 2. 2

2 月に入りました。明日は節分です。節分を過ぎると、翌日は立春となります。立春とは、二十四節気（にじゅうしせつき）において、春の始まりであり、また 1 年の始まりとされる日です。中学 2 年生は、3 年生により近づいてきています。立春とは名ばかりでまだまだ寒い日は続きます。しかし、2 月には「学習の診断」と「学年末テスト」があります。寒さに負けず、自分の目標に向けて計画を立て、丁寧な学習を心がけてほしいと思います。



1. 先月の行事

(1) 立志の集い

1 月 26 日（月）、「立志の集い」を行い、6 人の代表生徒がそれぞれの「志」を堂々と発表しました。その中には親や友だち、先生への感謝の言葉も述べられていました。最後に『夢は終わらない』という歌を聞いてもらいました。CM で使われている曲で、「どこまでも どこまでも 果てしない空 信じている限り 夢は終わらない」というサビの部分は聞き馴染みの方もいらっしゃると思います。この曲を歌っている方は、武内千佳さん。「高松北高の 1 期生で、あなたたちの先輩だよ。エールをもらったね。諦めず、自分の夢を目標にしていこう。」と話しました。



(2) ハンセン病問題学習④

2 学期後半から、今日の人権課題の 1 つであるハンセン病問題について学習してきました。28 日（水）はそのまとめとして、「差別って何？」について学びました。差別は「うわさ、冗談、悪口」から、「嘲笑、バカにする」「嫌がらせ、差別」「暴行脅迫、殺人」「ジェノサイド（大量殺人）」となっていくこと。そして、そのもとになるのが、マイクロアグレッション（小さな攻撃）です。これは差別の一種で、「思い込みや偏見によって、無意識に相手を傷つける言動」「意図がなくても、相手に細い針でチクッと刺したような痛みを与える行為」と言われているものです。そのマイクロアグレッションが、人権や生命を侵害する深刻な差別に発展していくことを学びました。マイクロアグレッションと言われているものは、日常生活の中でよくあることだと思います。言動をとった本人は、意図せずそれを発しています。このときに傷ついた相手に気づき、すぐ謝ればいいのですが、そんなことはほとんどありません。本人の気づきが必要なわけですから、マイクロアグレッションは、第三者から指摘してもらうのが一番いいと言われています。生徒たちのそれぞれがマイクロアグレッションを意識した言動を心がけ、2 年団全体でお互いに声かけをしていくことで、さらにより学年団になっていけると、この日の生徒たちの様子を見て確信しました。

2. 学習の診断

2 月 10 日（火）に「学習の診断」が実施されます。県下一斉に行われ、公立入試と同じ 250 点満点で採点されます。自分の力を発揮できるように、この 1 週間は、対策に取り組んでほしいと思っています。学校では、過去の問題を解いたり診断対策プリントを解いたりして、本番に備えています。ご家庭でも、時々家庭学習の様子をご覧になり、声をかけてください。

3. 学年末テスト

2 月 18 日（水）、19 日（木）、20 日（金）の 3 日間です。美術と音楽のテストはありませんので、7 教科のテストです。「学習の診断」後すぐにテスト発表となりますので、計画的な準備が必要です。2 年生最後の大切なテストです。飛翔学習の時間などをうまく活用し、よい結果で締めくくってほしいと思います。なお、2 月 18 日（水）と 19 日（木）は給食がありません。

2 月 18 日（水）			2 月 19 日（木）			2 月 20 日（金）		
①理科	②英語	③社会	①技・家	②国語		①数学	②保体	③④ クラスマッチ